

- ・「財産管理運営のあり方」(郡山会場)
吉田 正夫(福島銀行営業開発部課長)
- ・「生活設計と資産運用のポイント」
野崎 信一(東邦銀行営業開発部副参事役)
- ・「共済年金の概要」(福島会場)
公立学校共済組合福島支部長期給付係

開催地 郡山会館(郡山市)
あづま荘(福島市)
参加人員 郡山会場 196名
福島会場 152名

- ② 教職員レクリエーション事業(県・共済組合、20年目)
教職員の健康の増進、元気回復及び相互親睦を図るため、多数の教職員が参加して楽しめるよう配慮して、県内各地区においてレクリエーションを実施した。

実施状況 175地区 300会場
参加人員 18,233名

- ③ 健康セミナー(共済組合、4年目)

現代のますます複雑多岐にわたる社会環境の中で、教職員が普段の健康と生活を見直し、より快適な生活を過ごすための一助となることを目的に、下記の講座を夏季休業期間中に実施した。

(セミナー内容)

- ・講演 「煌めいて人生 一七つのポイント」
山川やよい(やよいダンススクール会長
福島ユネスコ協会理事)

- ・実技 「ジャデイス」
山川やよい(やよいダンススクール会長
ジャデイスダンス創案者)

開催地 原町市文化センター
泉崎村農村環境改善センター
参加人員 原町会場 46名
泉崎会場 44名

- ④ フィールドワーク(互助会、16年目)

県内及び近隣県の文化財等を研修し、郷土の文化遺産等に対する理解を深めるとともに、会員の健康増進と相互親睦を図るため、各教育事務所単位で企画実施した。

実施区分	実施時期	研修コース	参加人員
相 双	8月6日 ～ 7日	青森ねふた祭り見学、太宰治生家 十和田湖遊覧	42
いわき	8月3日 ～ 4日	2コース実施 ① 益子焼常陸コース ② 青森ねふた祭りと十和田湖コース	84
計			435

- ⑤ 冬季レクリエーション(互助会、19年目)

冬季間における会員の健康増進と相互親睦を図るため
SAJ公認指導員のもとに、スキー講習会を行った。

区 分	期 日	場 所	参加者
第 1 回	1月23日～24日	坊平スキー場	78名
第 2 回	1月23日～24日	蔵王スキー場	36
第 3 回	1月30日～31日	蔵王スキー場	81
計			195

- ⑥ 弔慰供花助成(共済組合・互助会、20年目)

現職中に死亡した組合員(会員)の霊前に供花を行い
追悼の意を表した。

区 分	供 花 件 数
公立学校共済組合	19件
財)福島県教職員互助会	18件

(3) 公益事業

- ① へき地等教育事業助成(互助会、21年目)

県人事委員会指定特地以上のへき地学校及び特殊教育
諸学校に在学する児童・生徒の健全育成を図ることの一
助として、学校に図書を贈呈した。

対象校 259校

- ② 教育搭合祀遺族助成(互助会、19年目)

教育塔に合祀された者の遺族が、教育祭(大阪市で開
催)に出席したとき、旅費等の一部を助成した。

該当参加者 8名

- ③ 互助会文庫(互助会、3年目)

県民の教育文化の向上と振興発展に寄与するために、
県立図書館に図書を寄付し、広く県民の利用に供した。
一般県民用 1,471冊

- ④ 指定旅館利用助成(互助会、24年目)

県内、県外に指定旅館を設け、会員が旅行の際の便宜
と健康増進を図るため、利用券を発行して助成した。

助成額(宿泊利用1泊につき)

○あづま荘、郡山会館、せあぶり荘、新舞子ハイツ

ホテルサンルートいわき(5ヶ所) 1,700円

○その他の施設(36ヶ所) 1,500円

○会議室利用助成……新舞子ハイツ、ホテルサンル

ートいわきで会議を開催した場合は、利用料金の2分
の1の額を助成した。

実施区分	実施時期	研修コース	参加人員
県北	9月15日	日光東照宮、ウエスタン村、 日光江戸村	人 89
県中	8月6日 ～ 7日	最上川船下り、本間美術館 本間邸、羽黒山湯の浜温泉 致道博物館	60
県南	8月4日 ～ 5日	益子焼き窯元見学、筑波山神社 成田山、潮来十二橋めぐり 国立歴史民族博物館	26
会津	8月20日	平和観音、大谷寺、大谷資料館 栃木県美術館、栃木県博物館	100
南会津	8月6日	新瀨——寺泊、弥彦神社、三条燕	34